

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホームあいの里
シルバーマイツ

日付 平成17年3月31日
特定非営利活動法人

評価機関名 高齢者と痴呆の人のケアを大切にす会
LIFE SUPPORT推進グループ

評価調査員 在宅介護経験 16年
評価調査員 老人保健施設介護実務経験及び介護支援
評価調査員 在核介護経験 11年 専門員8年
評価調査員 在宅介護経験 10年

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

外部評価の結果

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

大通りから少し住宅街に入った閑静な場所に位置している。町中ではあるが、広い庭とウッドデッキがあり、菜園には野菜や花が植えられている。春になれば楽しむことができる。陽当たりの良いリビングルームには、ソファがあり、そこに利用者が集まって陽なたぼっこしたり、話しをしたりして、又昼食の手伝いをしながら自由に過している。昼食前、リビングルームの一角に円状に並べられた椅子に座ってリハビリ体操が始まった。職員を囲んで、演歌や民謡、童謡などの曲が流れ、皆んな手足や身体をゆっくり動かしている。家事をしたり、ゲームもして、出来るだけ自分の力で色々なことをするよう励まし、自分でする喜びを感じさせてあげようとしている。

母体が医療法人であるだけに、健康や栄養面はきめ細かく配慮されていて、その人の病状や体調に応じた食事の提供や健康チェックもきちんとしている。

隣は地域の公園があり、草取りにも出掛ける。今村宮に参拝も出来る。家族との連携や地域との交流も取れており、家族の協力や地域にも積極的に出掛ける取り組みも始めている。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

トイレに汚物槽がある。危険と思うので、蓋をして見えなくすると安全にもなるのではないでしょうか。

トイレは2ヶ所ありますが、将来の問題として増設することも考えておいて貰いたい。

洗面所も浴室に2ヶ所あるが、食後等混み合うこともあり、もう少し増やす事も考えて欲しい。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	職員全員が手帳を持ち、いつでも気の付いた事、考えた事を記録している。この手帳を管理者は月1回、理事長は半年に1回を通し、トップと職員間で意思疎通が出来たり、現場の声を伝える事も出来る。何事も意識しての行動が、新しいグループホームとしての質の向上の先駆的な取り組みになり、先が楽しみである。経営母体が今年度から医療法人となり、職員も利用者も認知症高齢者ケアに対する意識が変わった。医療面でのしっかりしたサポートがあり、利用者一人ひとりの能力や経験も良く把握したり、個人の健康上や生活上の記録もきちんとしており、分かり易いファイルの仕方があり感心した。利用者のケアに生かされ、良い効果を生むことだろう。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	医療一福祉一介護を一体化して高齢者の地域ケアに努めており、特に『通所介護で在宅介護を支えている』をモットーとしている代表者が、このグループホームの経営を始めた。このグループホームの特徴は家族と地域への関わり方である。家族会が昨年のクリスマス会を機に積極的に立上がりを見せている。グループホームからも「家族通信」を作り生活の様子や利用者個人の様子を記入したり、写真を添えて家族毎に送っている。年賀状も利用者の方が書ける所まで書いて、家族に送って大変喜ばれた。地域の人との付き合いも大切にしている。近所の人とも顔見知りになり声を掛けて貰ったり、ボランティアの人も出入りしてくれる。「あいの里」情報誌を町内に配布して理解を求めている。公園にも出掛け、利用者と一緒に草取りもする。地域と共に歩む理想的なグループホームとなりそうで、先が楽しみである。		

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	医療法人全体として「生き甲斐や個性を大切にすること」を追求しており、このグループホームでも、一人ひとりの個性や今迄の生活歴を大切に、最後まで笑顔で過せる場となることを目指している。その為に、持っている機能を出せるだけ維持出来るよう、出来ることは自分で貰う、全員で体操をして体を動かす等の取り組みをしている。その人に合った仕事や作業に取り組みさせてあげたり、趣味や外出の手助けを増やし、利用者の達成感や喜びを更に大きなものにしていこうとしている。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	広く明るいリビングルーム、広いウッドデッキ、広い菜園等は利用者によりゆとりの気持ちをもたらし、色々な場所で生活場面をつくるようになってきている。リビングルームには絵手紙の作品や利用者の写真が貼ってあり生活の様子が良く分かる。居室にも色々な家具が置かれ、小物入れや写真や作品が飾ってあり、利用者や家族の思いが伝わってくる。隣に公園もあり、我が家の庭のように楽しく散歩したり、草取りも行っている。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		